

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	コミュニティプラザ改修事業			会計	款	項目	大	小
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	商工振興課			
施策	5-3	誰でもが安心して働ける環境・基盤づくり		主管課長	金子 孝行			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	勤労者・市民	意図	勤労者総合福祉センター・勤労者体育施設の充実を図る。
事業内容	老朽化に伴うコミュニティプラザの計画的な改修整備を行い、利用者の利便向上を図る。 (平成27年度は、最新基準に適合したエレベーターを全面改修)			
事業開始から現在までの状況変化	平成2年に勤労者総合福祉センター、平成3年に勤労者体育施設が雇用促進事業団との合衆により開館、平成15年には雇用・能力開発機構（旧雇用促進事業団）から譲渡を受け、27年を経過し、各施設の老朽化による改修も平成18年度の屋根及び防水改修をはじめ、平成27年度のエレベーター改修を実施し、施設利用に必要な維持管理に努めている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	施設利用者	112,073	110,846	112,566	
②	施設の稼働率	89.30	88.40	87.20	%	↑↑↑	各部屋ごとの使用日数/開場日数の年間稼働率の平均
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果	定期点検、法定点検				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・平成23年度まで、事業単位で基本計画へ位置づけ、改修を実施してきたところであるが、老朽化に伴う計画的な改修の必要性から本事業の中で一本化することとした。平成27年度は建築基準法に適合するため、エレベーターの全面改修を実施、平成28年度では勤労者体育施設可動式屋根改修を計画したが、施設の今後の在り方や費用対効果を再検討することとなった。 ・平成30年度からデザインビルド型ESCOサービスにより、空調及び照明の改善に向け進めている。		
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)				16,447,720			
事業費(b)(円)				15,661,080			
うち一般財源				15,661,080			
職員給与費(c)(円)				786,640			
人役・職員(人)				0.10			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)				0.02			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	勤労者総合福祉センター内のエレベーターが、最新基準に適合していないことから全面改修を行う。	③取組の課題	可動式屋根は特殊であり、改修頻度及び費用も高いことから今後の施設利用の方向性や費用対効果を含め、平成28年度に再検討を行う。
②今年度(H27)に実施した取組	勤労者体育施設の可動式屋根の雨漏り改修に向け、協議し予算要望を行った。	④今後の改善計画	想定する改修について、後期基本計画に位置付けており、優先度に沿って改修に努めたい。